111. ハイパー・カードによる
核医学処理装置の環境整備

Improvement of Nuclear Image Processor Using HyperCard

(財) 癌研究会附属病院 アイソトープ部 ○山田 康彦
(Yasuhiko Yamada)

野村 悦司
(Etsuji Nomura)

画像に表示されている漢字はGMS-550Uで作成したワープロによるものです。

〔目的〕

東芝 GCA-901A の GPL 言語を使用して、核医学
処理装置にアップル・コンピュータ社のマッキントッシュ
で馴染みのあるハイパー・カードを再現し、メニューの絵
をトラックボールで指示することで操作できる環境を構築
する。

また、ソフトウェアの生産性を高めるために、新しい画像処理言語を開発したり、漢字文化に合わせて日本語ワープロなども作成する。

[HyperGP]の目的

我々はプログラマではなく仕事を効率よく処理したいだけであるから、ソフトを共有すればより高次の処理が可能になるのではないかと。

そこで、作成したGPLプログラムを小さなサブルーチンに分解して、積み本を作る。

積み木の組み合わせを新しいコマンドとして登録、実行できるようにする。

開始印 終了印

登録 EF [(EF1 (EF2 (EF3]

コマンド名
(4文字まで)

實行

自動的にEF1, EF2, EF3を実行する。

[結論]

核医学画像処理装置にハイパー・カードの設計思想を再現することにより動作環境が整備され、初心者でも簡単に操作できるようになった。

特に画像処理言語は、処理スピードを落とさずに生産性を高めることに成功した。

[HyperGPLの解説]

処理プログラムは積み木の組み合わせである。

古くなって調子の悪い積み木は取り換えて、最高の品質を持つ積み木は、いろいろな人が利用することにより財産になる。

★積み木の種類

1.	DF	基本プログラム (GMS-550U)
2.	*FH1	コマンドプロトコル (〃 〃)
3.	MI	HyperGPLサブルーチン (30)
4.	(EF)	ハイパーコマンド (50個まで登録可)
名前は4文字まで

☆癌研EF処理 (Hyper GPL)

EF 1 (EF1) (EF2) (EF3)
EF1 1 (FH1) (GC1) (DF1) 1 (MM1) (GC1) (FD1)
EF2 1 (M1) (M1) (FH1) (GC1) (LE1) (R1) (FX1)
EF3 1 (FH1) (EF1) (M2) 1 (EF2) (GC1) (FD1)